

NAGASAKI UNIVERSITY

IT RECURRENT EDUCATION



長崎大学情報データ科学部

IT先端技術応用講座

社会人向け | 2023年度 総覧



長崎大学情報データ科学部
〈社会人向け〉IT先端技術応用講座事務局

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14

TEL:095-819-2570

E-mail : it-recurrent@ml.nagasaki-u.ac.jp

Homepage : https://www2.idsci.nagasaki-u.ac.jp/it_recurrent/

X (旧Twitter) : <https://twitter.com/itrecurnagasaki>

ホームページは
こちら



X (旧Twitter) は
こちら



社会人向け | IT先端技術応用講座

概要

長崎大学情報データ科学部では、IT先端技術やビジネスモデルに関する実践型教育プログラムを立案し、地域密着型のコンパクトで密度の濃い実践型教育プログラムを提供しています。長崎県からの受託事業として、社会人向けのリカレント教育である「IT先端技術習得講座」を平成30年度より3年間、「IT先端技術応用講座」を令和3年度より開講しています。

本年度もこれまでの実績と成果を活かし、基礎技術的内容に加えて実践的な実装方法の習得によるソフトウェアシステム開発のプロジェクトリーダー育成を目指すカリキュラム構成にしました。

これまでの6年間で延べ240名が受講し、うち54名が履修証明書を取得されています。さらに、5名が工学研究科の社会人博士課程(小林研究室)に進学され、長崎県でのITリーダーになるべく高度な技術習得に挑戦されています。

対象

原則として、長崎県次世代情報産業クラスター協議会(※1)に加盟する企業等の技術者(※2)。令和5年度からは、長崎県居住支援の一つとしてリモートワークによる長崎県移住者、及びワーケーションによる長崎県利用者の受講も可能です。

(※1)長崎県次世代情報産業クラスター協議会(事務局:長崎県新産業創造課)への入会については、以下の県ホームページをご覧ください。(入会金は無料です。)

<http://www.pref.nagasaki.jp/object/kenkaranooshirase/oshirase/340488.html>

(※2)県内に事業所を置く企業・団体の技術者を優先とします。

受講料

無料。ただし、補助教材費(3万円)は別途必要。

履修証明プログラム

履修証明プログラムとは、学校教育法に規定された履修証明制度に則った教育プログラムです。社会人を対象とし、多様かつ高度な、職業上に必要な専門的知識・技術取得のニーズに応えるなど充実した内容で、大学の研究資源を活かし、一定の教育計画の下に構成されています。プログラム修了者には、大学から学校教育法の規定に基づくプログラムであること及びその名称等を記載した履修証明書が交付され、履歴書に学歴として記載することが可能です。また、大卒(4年制)の資格があり修士の資格を保有しない方が、長崎大学情報データ科学部の社会人博士課程への入学を希望する場合、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認定を受けるための根拠資料の1つになります。

IT先端技術応用講座では、以下の基幹講座(5科目)のうち4科目以上を履修し、3科目以上を修了された方へ履修証明書を交付しております。

AI活用講座:
データサイエンスの
基礎と実践
(P.03)

大規模プロジェクト
マネジメント講座
(P.04)

Javaによる
並列分散システム
開発方法論
(P.05)

デザイン思考
アプローチによる
顧客価値創出講座
(P.06)

安心安全な
システム設計方法論
(P.07)

本講座との出会いをきっかけに社会人ドクターへ挑戦されている方がおります。家庭や仕事とのバランスを図りながら、“学びを止めない”その姿勢に感服です。

SCHEDULE

受講生募集 4月より

履修オリエンテーション 5/27

基幹講座

AI活用講座:
データサイエンスの基礎と実践

6/10 ~ 9/9

全15回

P.03

大規模プロジェクトマネジメント講座

6/3 ~ 8/1

全15回

P.04

Javaによる
並列分散システム開発方法論

8/12 ~ 8/16

5日間の夏季集中講座

P.05

デザイン思考アプローチによる
顧客価値創出講座

9/30 ~ 11/25

全8回

P.06

安心安全なシステム設計方法論

10/3 ~ 1/9

全15回

P.07

特別講義・研究動向報告

・Web3.0の技術動向
・Web APIの仕組みとプログラミング

12/16

P.08

一般公開講座①

安全なIoTデバイスに向けた課題
〜ソフトウェアの更新〜

8/5

P.09

一般公開講座②

テレワーク時代のセキュリティ

10/28

P.10

成果発表会

2/8

P.11-12

アンケートまとめ

P.15-16

ごあいさつ



長崎大学情報データ科学部
学部長

西井 龍映

IT先端技術の基礎習得から実践的応用へ

長崎大学工学部・情報データ科学部は長崎県からの受託事業として、平成30年度より「社会人向けのリカレント教育」である「IT先端技術習得講座」によりITの基礎技術的内容を3年間、令和3年度より「IT先端技術応用講座」により実践的な実装方法の習得を目標にした講座を3年間開講いたしました。同講座には昨年度に続き、今年度も定員に倍する申し込みがありました。今年度は4つの基幹講座：データサイエンスの基礎と実践；大規模プロジェクトマネジメント；Javaによる並列分散システム開発方法論；デザイン思考アプローチによる顧客価値創出；に新たに「安心安全なシステム設計方法論」を追加し、「履修証明書」を取得しやすくなりました。

また、平日の講義は「リモートのみ」、土曜日は「対面のみ」と出席に配慮し、さらに対面による夏季集中講座を開催しました。受講生はIT先端技術を応用する能力を身に付けると同時に、講師と受講生、受講生同士といった異業種・異分野交流により、将来の発展の種が播かれました。

令和6年10月からは、情報データ科学部の一部を長崎スタジアムシティ内の長崎大学サテライトオフィスに移転し、企業の連携を広く強く致します。さらなる長崎大学の地域連携にご期待ください。最後に、本講座を受講された皆様、受講を助めてくださった企業人の皆様すべてに厚く御礼申し上げます。



長崎県 産業労働部
新産業創造課
課長

伊東 啓行

AI・IoT・ロボット分野における 高度専門人材の育成について

人口減少や少子高齢化といった2040年問題への対応や、新型コロナウイルス感染症に対応した「新たな日常」を通じた質の高い経済社会の実現、地方創生が喫緊の課題となる中、今年に入り頻りに耳にするようになったChatGPTをはじめとする生成系AIの活用など、次世代を担う情報技術が急速に進展しております。

そのような中、本県でも、様々な産業分野への先端技術の普及を図るため、情報分野における高度専門人材の育成に取り組んでおります。2021年度に開始した技術者向け「IT先端技術応用講座」は、2018年度から3年間実施した「IT先端技術習得講座」をさらに深化させ、大規模プロジェクトを担えるリーダー人材の育成を目指し、習得技術の応用実践と新規ビジネスの創出、プロジェクト遂行・管理能力の向上に重点を置いた内容となっており、本年は過去最多となる57名のご参加をいただきました。受講された皆様におかれましては、習得された技術を活かし、社内における先端的なプロジェクトのリーダーとしてご活躍されますとともに、講座を通して得られた様々な人脈を活かされ、企業間の交流・連携を通して、更なる技術力向上と事業拡大に繋げていただくことを期待いたします。

県としましては、今後も県内企業の技術力強化につながる専門人材の育成を進めるとともに、DX推進や企業間連携に対する支援等、先端技術の活用や事業拡大、新たなサービスの創出等に取り組んでまいりますので、引き続き、県の産業振興施策にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本講座の実施に際し、ご支援、ご協力をいただいた長崎大学をはじめとする関係者皆様に厚く御礼申し上げます。

今年度の目玉

新基幹講座「安心安全なシステム設計方法論」

「安心」してシステムを利用できるように「安全」なシステム設計が求められる昨今、安心安全なシステム設計に必要な基本技術と実践スキルを養成する講座を新設しました。基幹講座が5つになり、以前より「履修証明書」取得へチャレンジしやすくなりました。

夏季集中講座の開催

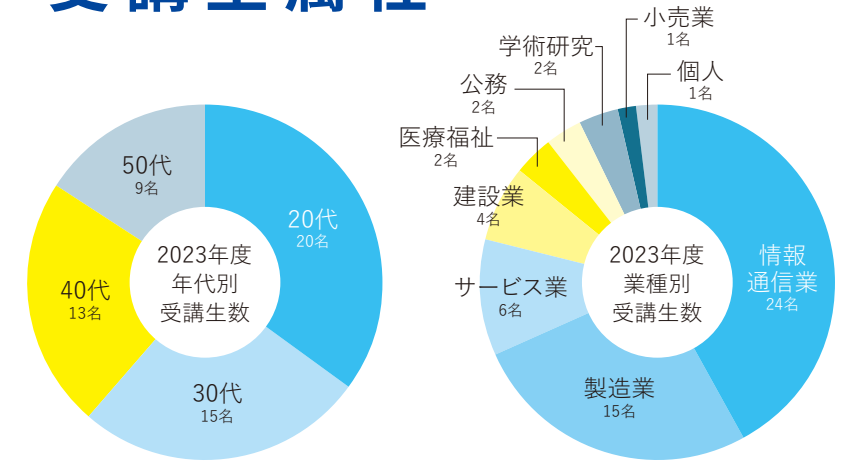
Javaの特徴である並列処理、分散処理の基礎概念からプロセス間通信に関して、その理論及びJavaでの実践的な実装方法を習得するため、お盆休み(8/12~16の5日間)を活用した集中講座(対面のみ)として開講しました。

メリハリのある講義スタイル

1日24時間と限られた時間をより有意義に活用できるようにとの思いから、平日は「リモートのみ」、土曜日は「対面のみ」という講義スタイルにしました。何かと多忙な平日は、リモート参加で移動時間を短縮。土曜日は、対面参加で講師の手厚い指導と受講生同士の交流。

受講生属性

今年度は、57名の方が受講されました。履修証明プログラムに取り組む方だけではなく、興味のある講座のみ受講する方もいらっしゃいました。受講生の年代や業種は円グラフをご参照ください。



受講動機

- ・履修証明書の取得
- ・自己研鑽(学び直し・社会人ドクター挑戦の足掛かり)
- ・技術者・プロジェクトリーダーとしてスキルアップやキャリアアップ
- ・県内の多種多様な業界から参加される受講生や講師との意見交換
- ・業務に役立てたい(データサイエンスの知識習得・システムの構築や品質の向上・セキュリティ技術向上)
- ・製造業・建設業の活性化に寄与したい
- ・組織のDX推進に役立てたい
- ・社内や長崎県のIT技術の成長・発展につなげたい

AI活用講座： データサイエンスの基礎と実践

概要 人工知能を活用するための基盤技術であるデータサイエンスについて学ぶ。
〈座学・データ分析実習〉

全15回

日時 6/10(土) ~ 9/9(土) [平日] 18:00~20:00
[土曜日] 13:00~17:00



どう活用してもらえるかは受講生次第!!



YUTA UMEZUMI

講師
梅津 佑太 准教授

受講生の様子 やる気のある方、興味を持ってやろうとしてくれる方が多い。「これが知りたい!!」という学習意欲が高く、最後まで意欲的な質問が多かった印象。

感想「講座を終えて」 ハイフレックスではなく完全対面で講義できたことが良かった。もうちょっと対面授業を意識して授業展開できていたらと反省。いきなり「解析」からではなく、「集計のしかた」→「Pythonとは」という講座内容を作れたら良かったかなあ。

受講生へのエール 大人になって一から勉強することはかなり大変だと思うので、分からなくてもいいから一通り聞いてみて雰囲気だけでもいいから掴んで下さい。興味を持ってキーワードを検索しながら、今後も勉強し続けてもらえるといいなあ。一見難しく感じると思うが、じっくり考えたらわかることも多いと思うので、チャレンジし続けてくれたらいいなあ。

受講生

STUDENT VOICE

の声

- マーケティングやAIに用いられる様々な技術を知ることができた点が良かったです。
- 自分一人では解決できないことを、講義や質問を通して解決でき、とても有意義でした。
- 今回の講座を通して得た知識のおかげで、抵抗がなくなり、自主学習がやりやすくなりました。
- 初めて聞く単語が多くハードルが非常に高かったが、その分、達成感もあり非常に満足できる講義でした。
- 課題の解説をととても丁寧にくださったことで、難しい内容ではありましたが、理解に近づけたと思います。
- 文系出身プログラマーとしては数理について苦手意識があったのですが、今回の講義を通して興味と意欲が湧きました。今後自学を続けていきたいと思えた事が、講座に参加して得る事が出来た1番の事かも知れません。

大規模プロジェクト マネジメント講座

概要 お客様とのコミュニケーションを活かした要求分析方法や実践的なドキュメンテーション技術について学ぶ。〈座学・実践的実習〉

全15回

日時 6/3(土) ~ 8/1(火) [平日] 18:00~20:00
[土曜日] 10:00~17:00



受講生がどのように感じているか、気になる...



TORU KOBAYASHI

講師
小林 透 教授

受講生の様子 全体的にやる気や学習意欲が高い。出席率も高く、取り組む姿勢もポジティブ。授業で話したかったが話せなかった時、「よくぞ聞いてくれました!」という質問があり嬉しかった。受講生がいろいろと考えてくれているのが伝わってきた。

感想「講座を終えて」 グループワークや演習を取り入れながらの対面講義は受講生の様子もわかるし、コミュニケーションも取りやすい良かった。特に、最終日に行われたSOAのアイデア発表は、仕事で使える実用的なものからファンタジーなものまで、新規性がありユニークだった。

受講生へのエール 大事なものは、この講座をどう活かすか?ぜひ活用してほしい。5年後、10年後に業務で成果が出てくれていると、嬉しいです。

受講生

STUDENT VOICE

の声

- 一連の授業を受けて、ソフトウェア開発がどのように進んでいくか、よく知る事ができました。仕事としてスキルを身につけるには実践あるのみなのだ、と再認識した感じです。
- ユーザや開発メンバーの思考に近づくことで、相乗効果が生まれると思うので、開発経験がない方にも有意義な講義だと感じました。開発スキル、知識も必要ですが、最後は人と人のやり取りが重要だと理解できました。
- 様々な例え話が分かりやすく、実践的な場面を想定しての課題、要求定義書と要件定義書の検討など、実際の現場を想像することができました。聞いたことのないIT用語を耳にするとすぐに調べる習慣が身に付きました。難しい課題も、グループで進めることで、様々な知識や意見を知ることができました。
- 異業種の方と意見交換しながら一つのものを作り上げるグループワークの面白さを強く感じました。チームビルディングですとかディスカッション時のファシリテート能力が、少しだけアップしたような気がします。この経験を今後の業務に活かしていきたいです。

Javaによる 並列分散システム開発方法論

概要 並列処理、分散処理で必須となる排他制御や同期制御、プロセス間通信に関して、理論とJavaでの実践的な実装方法を習得する。〈座学・実践的実習〉

5日間の
夏季集中
講座

日時 8/12(土) ~ 8/16(水) 10:00~17:00



ぜひ社会人ドクターとして来てください!!



TORU KOBAYASHI

講師
小林 透 教授

受講生の様子

大規模講座と同様、一生懸命に取り組まれていた。グループ分けを3回実施したが、その都度、名刺を交換し和気あいあいと交流していた印象。グループディスカッションも活発でとても良かった。

感想
「講座を終えて」

受講生も多くやり切った感、達成感がある。対面での短期集中講座は、リマインドが不要でプログラミングや演習を行う講座スタイルに適していた。昨年の反省を踏まえてイメージ通り実施できたと思っているが、受講生の受け止め方が気になる。将来の仕事に役立ってくれれば、一番うれしい。

**受講生への
エール**

授業でも話したが、やる気スイッチを自分自身で押してこれからの仕事に向き合ってもらえたら、お互いに意味のある5日間になったのではないかな。今後も主体的に取り組んでもらえたら、自分のためにも、社会のためにもなる。ぜひ社会人ドクターへチャレンジし、自身が抱えている課題解決のために行動してほしい。

受講生

STUDENT
VOICE

の声

- 排他制御や同期をする際の、重要なポイントや考えがわかりました。
- SEとしての専門知識はもちろんのこと、社会人としての在り方についても教えていただけたことが大変有難く、私の財産となりました。
- 今後、プログラム言語を習得する際には、講義いただいたオブジェクト指向の理解の大切さを意識して取り組みたいと思います。
- 一から書いていくのではなく既存のプログラムを変更していくので、細かい点に気を取られて進まない、ということがなく、とても理解しやすかったです。プログラムの中身も、オブジェクト指向のプログラムとして排他処理など基本的な知識を学ぶことができました。
- スキルの高い人に合わせて初心者の人を置いていくことなく、一人ひとりが理解するまで丁寧に説明していただき、また初心者に合わせるだけでなく、スキルの高い人との高度な議論もあり、刺激的で充実した時間でした。

デザイン思考アプローチによる 顧客価値創出講座

概要 デザイン思考を実践する能力の習得、実践する上で重要となるワークショップの企画・ファシリテーションについても学ぶ。〈座学・グループワーク〉

全8回

日時 9/30(土) ~ 11/25(土) [平日]18:00~20:00 [土曜日]13:00~17:00または9:00~18:00



“捨てる勇気”をもって、Do it now!!



TOMOCHIKA OZAKI

講師
尾崎 友哉 教授

受講生の様子

やる気、関心がある人が受講されていたようで非常に熱心。いろいろ悩みながらも一生懸命考え、知恵を出し合っていた。

感想
「講座を終えて」

トラブルもなく無事に終わって良かった。トセビア内でのインタビューを計画していたが、悪天候により断念したことが残念。アンケート結果を見て、受講生の皆さんに何かを感じ取っていただいたようなので非常に良かったかな。今後、役に立てばいいかな。

**受講生への
エール**

実践するのみ!! やっぱりやってみないとダメなんです。やるとどんな感じになるかは体験済みなので、繰り返しやってもらえればだんだん自分のものになっていく。表面に見えるものがすべてではなく、その奥にあるものが本当のユーザーさんのニーズだったりするので、繰り返し訓練してより深く、より具体的に考えていく。また、たくさんのアイデアを出して、それをてんこ盛りにするのではなく、本当にいいものを選びすぐる。プロトタイプを作ってダメだったら、もう一度やり直す。これらすべてを含んだ“捨てる”ということが大切!だけど、難しい。

受講生

STUDENT
VOICE

の声

- トライアンドエラーを繰り返すことでブラッシュアップさせていくことと、捨てる勇気を持つと言うことは大変参考になりました。
- インタビューは、「こちらの考えを確認する」ものではなく、「相手の体験を引き出す」ことが重要であるという点が、一番参考になりました。
- 職業・年齢・性別問わず、さまざまなバックボーンを持つ方々とワークをできたことで、自分自身新たな発見につながった点が多々あり勉強になりました。
- 自分の考えがフレームワークにはまってしまうことを何度か実感でき、今後気を付けようと思うことができました。
- 短い時間を設定して深く考えずにアイデアを出し合う方法などは、今後の業務でも取り入れれば、会議の時間を有効にできると思いました。
- 講座の内容は社内にも展開したいような実用性の高いものばかりでした。アイデアからドキュメントまでの流れがスムーズだったので以降の業務でも活かそうです。

安心安全な システム設計方法論

概要 一般ユーザが安心して利用できる安全なシステムを設計するための方法論について学ぶ。(座学・実践的実習)

日時 10/3(火) ~ 1/9(火) [平日] 18:00~20:00 [土曜日] 13:00~17:00

全15回



セキュリティを踏まえたシステム作り



KENICHI ARAI

講師
荒井 研一 准教授

受講生の様子 やる気があり、意識が高い。受講生とのやり取りから、業務につなげようとしてしっかり学ばれているなと感じた。

感想「講座を終えて」 皆さん、しっかりと受講していただき嬉しかった。セキュリティの重要性を再認識していただけかなと思うので、業務等で活用してくれたら授業した甲斐がある。受講生との交流も楽しかったので、受講生への問いかけや演習をもう少し多くすれば良かったかなと。

受講生へのエール セキュリティは独学では分かりにくい、対策しておかないと、何かあったときに被害が大きくなってしまふ。システム作りはもちろん重要だが、実際の運用や対策面としてセキュリティにも目を向けてくれると嬉しい。今後は、授業でお伝えした最低限のセキュリティ対策を意識してシステムを構築し、安心安全なシステム設計を目指していただけると幸いです。

受講生

STUDENT VOICE

の声

- 毎回、説明が非常に丁寧で、特に、授業資料が作りこまれていたので大変分かりやすかったです。
- セキュリティの事は、ますます必要とされる知識だと思っていたので、学ぶ機会を得られて良かったです。
- セキュリティ用語で聞いたことはあっても、それぞれあまり深掘してこなかった、今回の受講で幅広く具体的な解説を頂き、理解が深まったと感じています。
- 情報セキュリティの概念がわかったので、関連する資格の参考書や問題集、専門書を読み通す事が出来る様になった。
- 今後、会社での業務を行うにあたって、公開サーバ等を構築する機会がありましたら、受講した内容を思い出して設定を行いたいと思います。
- システムを構築するうえで暗号化などセキュリティ対策を念頭に置いて設計するよう考慮するようになりたいと思うようになりました。

特別講義
1

研究動向報告 Web3.0の技術動向

日時 12/16(土) 10:00~12:00 | **報告者** 深江 一輝 [情報データ科学部 戦略職員(URA)]

概要 Web3.0は、ブロックチェーン技術を活用した分散型のインターネットの形態である。Web3.0の特徴である暗号資産・NFTの動向や法整備の状況についてわかりやすく説明する。

キーワード 分散自律/ブロックチェーン/NFT/AR



KAZUKI FUKAE

特別講義
2

Web APIの仕組みとプログラミング

日時 12/16(土) 13:00~17:00 | **講師** 小林 透 教授

概要 APIは、アプリケーション同士が情報をやり取りするインターフェース。Web APIの仕組み、PHP・Python・Javaを用いたWeb APIの操作方法について、サンプルプログラムを用いて講義する。

キーワード SOA/プログラミング演習/グループワーク



TORU KOBAYASHI



受講生

STUDENT VOICE

の声

- WEB3.0の最新情報についてわかりやすく説明いただき、一極集中ではなく分散型の透明性の高いものになりそうな点について期待が持てました。
- 少ない人数でゼミ形式を体験することができて良かったです。チームに分かれての意見交換を行い、一緒に問題を解きました。正解までの正しい認識がまだ不足している場合、チーム内で意見をまとめる事はなかなか難しかったように思います。様々な意見が出て、色々な角度からの発言がありました。
- 何となくしか理解できていなかった部分を説明していただいていたので良かったです。
- 公開鍵、秘密鍵については、ずっと疑問に思いつつながら、分からないままになっていたところでした。この内容を自力で勉強するとなるとかなり難しかったと思いますので、今回、講義を受けることができて良かったです。

安全なIoTデバイスに向けた課題 ～ソフトウェアの更新～



RYOZO KIYOHARA

講演概要
 ・IoTデバイスのソフトウェアの更新の必要性と課題
 ・課題解決に向けた適用例を通じた最新技術
 ・システム設計時の考慮点

講師 清原 良三 教授
 [神奈川県立工科大学 情報学部]

日時 8/5(土) 13:00～16:00
 講演・意見交換会

専門 モバイルコンピューティング、
 高度交通システム

場所 文教スカイホール
 (長崎大学 文教キャンパス グローバル教育・学生支援棟4F)

参加者 48名(現地:24名/Zoom:24名)



参加者

PARTICIPANT'S VOICE

の声

- 実務での話に非常に興味を持ちましたし、先端技術を身近に感じました。
- これまでIoTについて学ぶ機会がなかったためとても勉強になりました。
- 色んなテーマでこのような講座を、今後も受ける機会があれば大変嬉しいなと思っています。
- 現在よりも制約の厳しいガラケーのソフトウェアアップデートの話が面白かったです。
- 自分の専門とは異なる内容を学ぶことができたため、知識の幅が広がられました。
- 久しぶりに小林教授はじめ、関係者の皆様へお会いできてうれしかったです。また参加させてください。

テレワーク時代のセキュリティ



SHIGEAKI TANIMOTO

講演概要
 ・従来のセキュリティ対策、今抱えている課題紹介
 ・新たなセキュリティ対策の考え方であるゼロトラストモデルを紹介
 ・安心・安全なテレワークに寄与できるセキュリティ対策の考察

講師 谷本 茂明 教授
 [千葉工業大学 社会システム科学部]

日時 10/28(土) 13:00～16:00
 講演・意見交換会

専門 情報ネットワーク、
 情報セキュリティ、通信工学

場所 ポンペ会館
 (長崎大学 坂本キャンパス)

参加者 27名(現地:11名/Zoom:16名)



参加者

PARTICIPANT'S VOICE

の声

- セキュリティの大切さを再認識した。
- 冒頭アイスブレイクのパートで紹介されたAIによるPWクラックに要する時間の推定と、破られにくいPWの作り方の説明が非常に面白かった。
- 講義も大変参考になったのだが、終盤のスライドについて駆け足での説明となり、最近の無線技術とそのセキュリティ対策についてのお話が深掘りされなかった点が惜しまれる。
- ランサムウェア攻撃の被害を受けた病院の事例は、セキュリティ被害の恐ろしさがよく分かり、セキュリティ対策の重要性を再認識できました。
- パスワードの強度を確認するツールや安全なパスワードの作り方を学び、大変勉強になりました。
- 講義の内容が非常にわかりやすく、具体例を元に説明していただいたので理解する事が出来ました。

成果発表会

日時 2/8(木) 13:30~18:00

場所 ホテルセントヒル長崎
3F 紫陽花の間

参加者 50名(現地:22名/Zoom:28名)

・ 受講生代表4名による学修成果発表 ・

講座を通して学んだこと ～現場の潜在ニーズを引き出すために～

株式会社SUMCO
志田 美咲 様
MISAKI SHIDA

学び⇒気づき⇒
今後の目標へ



IT先端技術応用講座を受講して 得たものと今後について

株式会社
デュアルキーシステム
増田 桃太 様
MOMOTA MASUDA

ものの見方や
視点を変えて
考えることが大事!



AIを活用した 画像検品ソリューションの開発

株式会社
セイノー情報サービス
森 千裕 様
CHIHIRO MORI

演習が多く、
自分でネットワークを
作れる貴重な機会に
なりました



ドキュメント作成は コミュニケーション

マックス
コーポレーション
株式会社
中尾 孝浩 様
TAKAHIRO NAKAO

グループワーク・
ディスカッション・
e-learningで
充実した日々



デジタル人材育成大賞 授賞式(デジタル人材育成学会 角田仁会長より)

長崎大学・情報データ科学部の小林透研究室では、学部生・大学院生のデジタル教育に加え、地元の社会人教育や地元企業との共同研究(IoTと人工知能を融合したサービス開発)を通じて、長崎地域のデジタル化の底上げを図るとともに、若手人材の地元定着やUターンを実現するなど地域人材のキャリア創出にも貢献しています。この成果が高く評価され、第1回デジタル人材育成大賞を受賞しました。



基調講演 ICT社会を支える暗号技術・プライバシー保護技術 — 安心・安全な社会生活に向けて —



ATSUSHI FUJIOKA

神奈川大学 情報学部 藤岡 淳 教授

講演概要

インターネットやスマートフォンなどの情報ネットワークを安全に使うための基本的な内容や守秘・認証を実現する暗号技術について、社会インフラとしての役割や応用例を説明する。さらに、量子計算機が登場しても安全性が担保できる耐量子暗号技術や、暗号技術とは異なる切口で個人のプライバシーを保護する技術についても安全性評価指標やデータ変換手法とともに紹介する。



参加者

PARTICIPANT'S VOICE

の声

- 共に学んだ方々の発表を是非拝見したいと思っていたので、その機会を得る事が出来て大変良かったです。
- 学生の皆さんが講義から得られた知見が私の仕事にも役立つものばかりでした。
- IT講座で学んだことをそれぞれの職場における立場で、取り込むあるいは取り込もうとしておられるとの考えが良く理解できました。社会人として仕事への結び付けが素晴らしいと感じました。
- 皆さんのモチベーションの高さを実感できる内容でした。
- 弊社社員の成果発表に際し、会場参加させて頂きました。今後は得た経験を業務に活かすことと社内に広めて欲しいと感じております。
- 知識技術を学びたいので、また参加したい。



2023年度 IT講座を振り返って



5/27(土) 履修オリエンテーション

長崎県 産業労働部
新産業創造課
久保 卓也 様

長崎大学
情報データ科学部
小林 透 教授

今回の講座を通して、コミュニケーションの重要性を実感しました。初回よりも確実に自信や考え方が変わった気がします。



受講生同士、自己紹介や名刺交換を行いました。



座学だけではない貴重な体験を得ることができました。ほかの方のアイデアや柔軟性を学べるのもとてもいい機会でした。



先生や学生、周囲の受講生が優しく教えてくれました。



2/8(木) 成果発表会

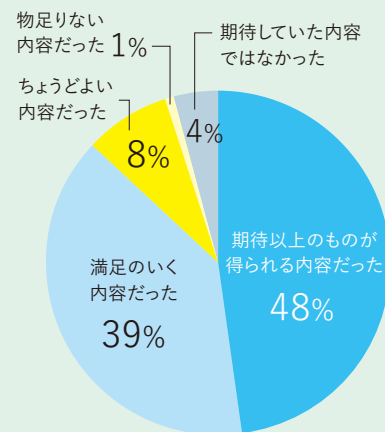
忙しい中、準備され発表された4名の方、お疲れ様でした。普段の業務では得られない経験も沢山出来る場であると感じました。

IT講座を振り返って

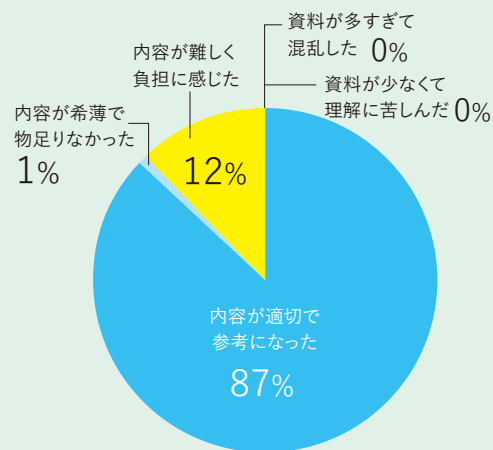
IT講座を振り返って

IT講座を受講して…

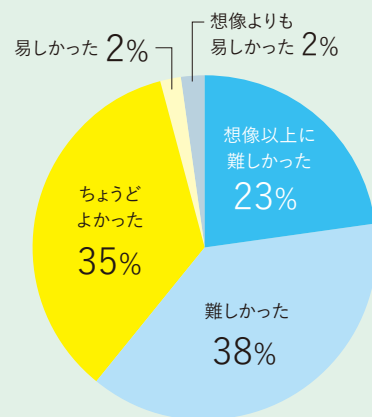
Q1 授業内容は
いかがでしたか。



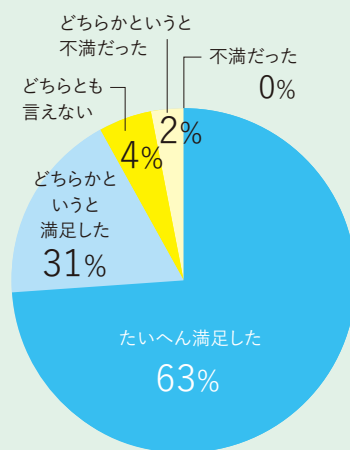
Q2 授業スライドや
資料はいかがでしたか。



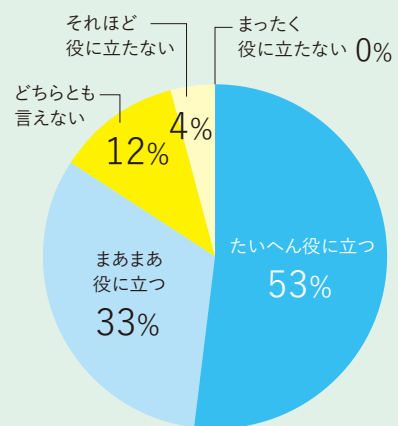
Q3 授業の難易度は
いかがでしたか。



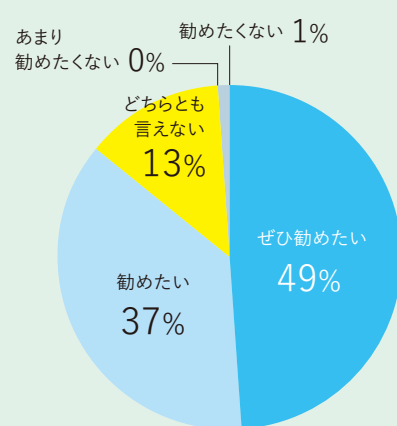
Q4 授業の満足度は
いかがでしたか。



Q5 講座を受講されて、
今後の仕事に役立つ
感じましたか。



Q6 興味を持ちそうな知人や
友人、職場の方々に受講を
勧めたいですか。



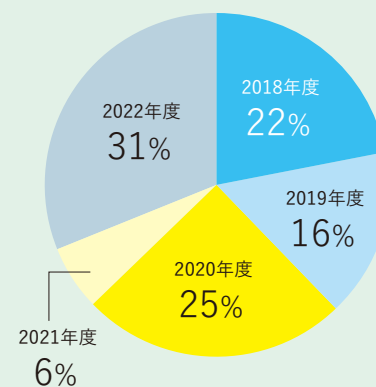
Q7 受講するにあたって、
苦労された点は？

- 分からないこと(用語など)が多く、理解に時間を要しました。
- 参考書は読んでいたものの馴染みのない数式に手間取っていました。
- 多人数を前にして理路整然と発言する事が苦手なので、発言するときは必死でした。
- 表情や身振りが見えないリモートでのグループワークは、やりにくい部分もあり苦労しました。

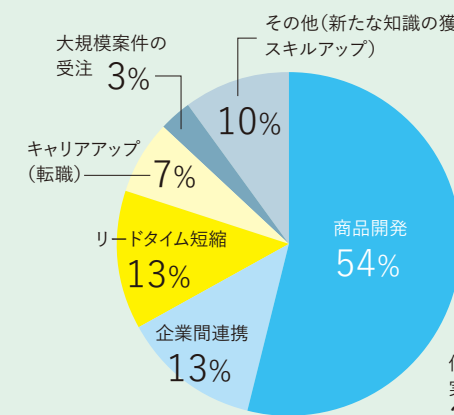
Q8 受講するにあたって、
工夫された点は？

- 日々の自分の業務のことも振り返りながら受講していました。
- 様々な立場やスキルをもつ人とのグループワークにおいて、自分ができることとできないことをお互いによく生かせるように意識して取り組みました。
- 楽しい空間にする事でより積極的な活動が出来ると思ひ、楽しんで行うことを意識して参加しました。

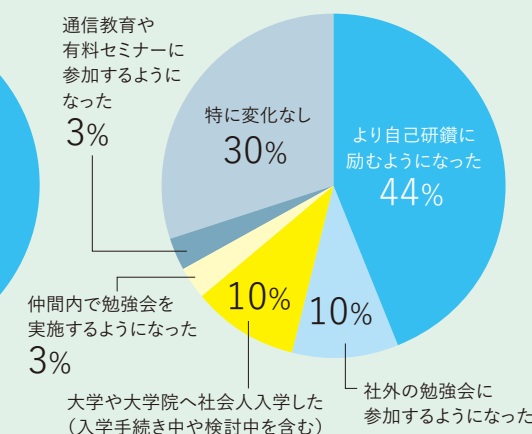
Q1 受講年度を教えてください。
(複数回答可)



Q2 IT講座で学んだ内容は、
業務や日常生活で
どのように役立っていますか。
(複数回答可)



Q3 IT講座受講後、
学習意欲に変化は
ありましたか。



Q4 IT講座での学習について、
活用例を教えてください。

- AI活用講座における知見を風力発電における風車ブレードの劣化診断に適用。
- データサイエンスの基礎と実践講座で学習した重回帰分析を利用することで、配管塗装のリードタイム短縮を実現した。
- デザイン思考アプローチによる顧客価値創出講座での新しい発想をする為のプロセスを学べた。その発想法は商品開発のみならず様々な事に役立っている。部下とのコミュニケーション(議論)に取り入れ活発な意見もでるようになり、会議の精度が上がった。
- 講座を履修したこと自体が付加価値となり、転職において評価された。
- 様々なバックボーンを持つ受講生とのグループワークから、柔軟な発想や新しい知識を得たいという向上心、探求心が増した。
- IoT技術の仕組みを理解したことにより、業者の方と話がスムーズになり、自身からも提案できるようになった。

未来の TO FUTURE STUDENTS 受講生へ

- ぜひ、多くの講義を受講することをおすすめします。
- コミュニケーション力を高めるという意味でもグループワークや社外の人との交流の場は重要で、以降の社会人生活に役立つと思います。
- 知識技術は生涯学ぶもの! 自身に見合った講座にチャレンジしてみてください。
- 道は長い上にすぐに変わりますが、頑張ってください。
- 日本のIT業界を引っ張っていきける人材として成長できるよう頑張ってください。
- IT関連の講座や講演などを得る機会の少ない長崎に於いて、この講座は非常に貴重で価値のあるものと確信を持ってお勧めします。